

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 14日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」河内松原校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティション等で支援スペースを確保したり、ミーティングルームを使用するなど工夫している。	支援スペース等については、法令順守しているが、今後も指導員間の情報共有を密にし、より充実した支援を提供できるように活用スペース等の工夫に努める。
	②	職員の配置数は適切である	○			職員の配置数については、法令順守している。より充実した支援が提供できるよう、職員間の情報共有に努める。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		支援室は段差等はなく、バリアフリー等について配慮している。	洗面の高さが大人用のものしかないもので、しっかりと踏み台を設置し、利用しやすくなるよう配慮している。また、使用時には職員が付き安全を確保している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃にあわせ、感染予防のため常に換気や除菌をし、空気清浄機、加湿器も使用している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日常的に情報共有するとともに、ミーティングにおいて支援状況にかかわって改善に努めている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		振り返りやモニタリングの際に、保護者様の思いの聞き取りをさせていただくなど、コミュニケーションをとるようにしている。保護者様との信頼関係構築を大切にしながら	

				ら、業務改善に努めている。	
⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPに結果を掲載するとともに、教室内に掲示している。	
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者からの評価をできるだけ得られるように、関係機関(相談支援事業所等)からのお話から「きらり」への評価の把握に努めている。	第三者による外部評価は受けていませんが、サービスの質の向上のため、今後も相談支援事業所等の外部機関との連携の中で、評価にかかる意見を聞き、業務改善につなげていきたい。
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		「きらり」や自治体の研修に定期的に参加するとともに、職員間で共有している。	ミーティングでの意見交流等も、指導員の資質向上につなげていく機会にしていく。
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		振り返り時やモニタリング時に、保護者様とお話をさせていただいたり、職員間でのミーティングや日常的な情報交換に努め、より充実した支援につながる個別支援計画になるようにしている。	今後も丁寧な振り返り、職員の情報交換・意見交換を行い、課題を分析し、充実した支援提供につながる計画作成に努める。
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査等については、保護者様から提供していただいた場合に、職員全員で共有し、支援充実に活かせるように努めている。	きらりのアセスメントシートのさらなる活用に努める。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様のご相談やご要望を踏まえ、より充実した支援提供ができるような個別支援計画の作成、事業所内相談支援や学校園と連携できる機会を設定している。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援後の振り返り時に保護者様のご意見をお聞きしたり、ミーティ	

適切な支援の提供

				ングや日常的な情報共有の中で、計画に沿った支援が提供できているか確認している。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数担当制で支援提供しているが、情報交換を密に行い、支援プログラムの工夫をするとともに、前回の支援とのつながりを大切に、活動プログラムの立案をしている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		より楽しく支援を受けられるように内容や方法の工夫に努めるとともに、個々の指導員の持ち味・得意を活かした支援をめざすことで、固定化につながらないようにしている。	今後も、支援内容等について意見交換や情報交換に努め、支援内容の幅を広げていく。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		児発小集団支援を実施している。また、この時に、利用者様どうしが交流する機会としている。	今後も、小集団支援を企画・実施し、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を提供していきたい。今後、放デイでの実施を検討していく。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援を提供する場所やプログラム内容を事前に職員間で共有し、より良い環境で支援が提供できるように努めている。	今後も、日常的に意見交換や情報交換ができる職場環境づくりに努める。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングや日常的なやりとりを通して、気づいたこと等を共有している。ミーティングが当日実施できない場合は、翌日に必ず実施している。	今後も、日常的に意見交換や情報交換ができる職場環境づくりに努める。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		担当する職員どうしが、前回の支援の内容や方法がより分かるように詳しく、具体的に記録している。	今後も、前回の支援が次の支援にしっかりとつなげていけるよう、支援記録に丁寧に記載していく。

関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング時に、保護者様と情報をしっかりと共有し、次の個別支援計画作成に活かしている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		可能な限り、担当指導員が参加できるように調整している。	今後も、可能な限り時間調整するとともに、利用者様の状況に精通した者が参加できるようにしていきたい。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		松原市子育て支援機関や保健センター、市役所障がい福祉課等との連携に努めている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			現在、該当利用者はいないが、必要な場合は、関係機関と連携していく体制はできている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			現在、該当利用者はいないが、必要な場合は、関係機関と連携していく体制はできている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者から園での様子をお聞きするなどし、状況の把握に努めている。ご要望があったり、必要と判断した時は、関係機関と連携する体制はできている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者から小学校等での様子をお聞きするなどし、状況の把握に努めている。要望があったり、必要と判断した時は、関係機関と連携する体制はできている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			松原市障がい福祉課や松原市放デイ部会等と連携し、助言や研修の機会

					をいただいている。	
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	個別支援であることから、保育園等との連携機会設定が難しい。	保護者からの要望があれば、個別ではあるが連携し活動していく体制はできている。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	松原市放デイ部会に参加している。	今後も松原市放デイ部会等との連携を図っていく。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	支援後の振り返りやモニタリングを通じて、状況や課題の把握・共通理解に努めている。	今後、事業所内相談支援を活用するなどし、さらに丁寧にお話ができるようにしていく。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	振り返りやモニタリング、事業所内相談支援で、保護者様の相談等をお聞きし、一緒に考えたり、アドバイスをさせていただくなどを日頃から行っている。	
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	契約時の重要事項説明書の説明を通して、理解を深めていただいている。また、教室内に運営規定や重要事項説明書を掲示し、いつでも見ていただけるようにしている。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	モニタリング時に、個別支援計画の内容等のご意見をお聞きし、丁寧な説明をさせていただくとともに、支援計画について同意をいただくようにしている。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	振り返りやモニタリング、事業所内相談支援で、保護者様の相談をお聞きし、一緒に考えたり、アドバイスをさせていただいている。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	「パパママカフェ」(保護者会)を実施し、保護者様どうしの交流機会を設けている。	今後もテーマを設定し「パパママカフェ」等を計画していく。

	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ミーティングや日常の会話を通して、相談や申し入れの内容の職員間の共有に努めている。	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的な会報は発行していないが、LINE やHP のブログで活動を発信したり、案内チラシを教室内掲示したり、保護者様に配布し、情報提供に努めている。	
	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報にかかる資料やPC等は、カギのかかるロッカーに保管するなど取り扱いに十分注意している。	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		支援や支援後の振り返りで意思疎通や情報の伝達に努めている。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	個別支援であるため、地域住民を招待する機会設定が難しい。	見学等の要望があれば、受け入れに向けて積極的に検討する。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			防災訓練を定期的実施しマニュアルの確認等をしているが、利用者様への情報提供が十分ではない。今後アナウンスに努めていきたい。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			個別支援なので、利用者参加の機会設定が難しい。緊急時の対応についてはさらに意識・理解していただけるようにアナウンスしていく。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		事前に保護者様からしっかりと聞き取らせていただき、職員間で共有している。	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食べ物の提供はしていないが、イベ

				ント等で必要な場合は協力医等と連携し取り組んでいく体制はできている。
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		その日のうちにヒヤリハットの内容を記録・共有するとともに、本部に報告している。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を受講している。受講できなかった職員には、日を改めて伝達している。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		重要事項説明書等に記載するとともに、契約時に説明したり、教室内に掲示し、いつでも見ていただけるようにしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 14日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」河内松原校 保護者等数(児童数):22 回収数:16 割合：73%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	0	0	0		支援スペース等については、法令順守しているが、今後も指導員間の情報共有を密にし、より充実した支援を提供できるように活用スペース等の工夫に努める。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	0	0	2		職員の配置数については、法令遵守している。今後も、支援方法・支援内容の工夫・改善に努め、職員の資質向上・専門性の向上に努める。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	0	0	1		支援室等には段差がなくバリアフリーに配慮している。洗面台の高さが大人用のものしかなく、しっかりと踏み台を設置するとともに、使用時は職員が付き安全を確保している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1	0	0		日々の清掃、除菌、換気等に努め、より安心してご利用いただけるようにしている。

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	0	0	1		支援後の振り返りだけでなく、モニタリング時に保護者様のニーズや課題をお聞きし計画に活かしている。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	1		保護者様のご相談やご要望を踏まえ、より充実した支援提供ができるような個別支援計画の作成、事業所内相談支援や学校園と連携できる機会を設定している。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	0	0	0		支援後の振り返りやモニタリングで保護者様と相談しながら、支援内容・方法等を提案させていただいている。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	1	0	0		複数担当制で支援を提供させていただいているが、事前に情報共有を行い、より支援が充実したものになるようにしている。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	0	9	体験したことがないため分からない。	保護者様から園等での様子をお聞きするなどし、状況の把握に努めている。ご要望があったり、必要と判断した時は、関係機関と連携する体制はできている。
保護者	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	0	0		契約時の重要事項説明書の説明を通して、理解を深めていただ

への説明等							いている。また、教室内に運営規定や重要事項説明書を掲示し、いつでも見ていただけるようにしている。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15	0	0	1		モニタリング時に、個別支援計画の内容等のご意見をお聞きし、丁寧な説明をさせていただくとともに、支援計画について同意をいただくようにしている。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	2	0	4		振り返りやモニタリング、事業所内相談支援で、保護者様のご相談をお聞きし、一緒に考えたり、アドバイスをさせていただくなどを日頃から行っている。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	0	0	0		振り返りやモニタリング、事業所内相談支援で、保護者様のご相談をお聞きし、一緒に考えたり、アドバイスをさせていただいている。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	0	1		振り返りやモニタリング、事業所内相談支援で、保護者様のご相談をお聞きし、一緒に考えたり、アドバイスをさせていただいている。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の	14	1	0	1	保護者交流会は	「パパママカフェ」（保護者会）とても良かった。	

	開催等により保護者同士の連携が支援されているか 3						を実施し、保護者様どうしの交流機会を設けている。今後もテーマを設定し「パパママカフェ」等を計画していきたい。
⑬	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	0	0	1		ミーティングや日常の会話を通して、相談や申し入れ内容の職員間の共有に努めている。
⑭	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	0	0	0		支援や振り返り・モニタリング、事業所内相談支援で、保護者様の相談やご要望等をお聞きし、情報共有や支援の方向性等を共有している。
⑮	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	2	0	7		定期的な会報は発行していないが、LINE や HP のブログで活動を発信したり、案内チラシの教室内掲示や保護者様へ配布し、情報提供に努めている。 自己評価については、HP に掲載するとともに、教室内に掲示し閲覧できるようにしている。
⑯	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16	0	0	0		個人情報にかかる資料や PC 等は、カギのかかるロッカーに保管するなど取り扱いに十分注意している。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	2	0	4	体験したことがないため分からない。必要だとは思う。	防災訓練を定期的に実施しマニュアルの確認等をしているが、利用者様への情報提供が十分ではない。今後アナウンスに努めていきたい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2	0	8		個別支援なので、利用者参加の機会設定が難しいが、定期的に防災訓練を実施し、緊急時の対応について職員間で確認している。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	1	毎週「きらり」を楽しみにしている。	今後もより楽しく学んでいただけるよう、職員のスキルアップを図るとともに、プログラムの内容や支援方法の工夫に努める。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	16	0	0	0	短時間でいろいろなことをしていただき大変満足しています。	利用者様の利用日時の変更、追加利用等のご要望に極力お応えできるようにするとともに、支援の充実に努め、信頼していただける「きらり」となるように努める。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。